

# 高雄日本人学校の風

校長 高口和治

## 9月19日 (月)

数日前から学校の前の道の反対側ですが、歩道の工事を始めています。ちょっと車幅がせまくなっていますので、気をつけてください。プールの水が緑色になってきました。防火用水確保に水は少なくはしますが、抜きません。ボウフラが発生しないように、グッピーを入れておきます。

## 9月20日 (火)

福島県から、台湾の方々の招きで高雄に数日滞在している方が土曜日私を訪ねてきました。福島では竹を使った環境教育をしているのだそうです。そこで、被災している福島の人たちに元気を届けたいということを考えていて、日本人学校に依頼しに来ました。佐久間さんという方ですが、竹とんぼの羽の部分はすでに削ってきてくれています。小学部全員を2組にわけて、メッセージと竹とんぼ遊びをしました。全員が、竹に一言メッセージを書きました。「日本頑張れ!」「高雄から応援しています」「日本加油」とか、それぞれの思いを書いていました。小学生に難しい話もできました。佐久間さんは、pHとか酸性とか(私との打ち合わせでそこまでしなかったの)の話、バンブーと竹の違い、なぜ、竹とんぼは飛ぶのか、などの話が出て、難しかったのですが、しっかり聞いていました。

## 9月21日 (水)

中庭の木が黄色い花で色づいています。日本では、台風の影響ですごい雨だという報道です。3月11日の地震に始まり、今年は災害に見舞われています。

## 9月22日 (木)

福東國小に挨拶に行ってきました。小学部5, 6年生の交流についても簡単な打ち合わせをしてきました。以前は、英語特別クラスがあったとのことですが、今はないそうです。あちらでは、校長先生、教務主任と教務副主任、さらに、担任2人も対応をしてくれました。教務主任は英語はもちろん、私が新潟だと言ったら「うえすぎけんしん」と話し、タイに3年住んでいたと言ったら「サワディカップ」と。恐るべしです。実は、多くの方はタイ語のあいさつを知っているといっても、語尾が男性と女性では違うということを知らないのですが、彼はちゃんと発音もできていました。

## 9月23日 (金)

日本では、秋分の日で休みです。ほぼ1年の半が過ぎました。私のように台湾1年目の方はいつまでも気候が夏ですので、身体が秋を欲しているとする、疲れを意識的にとらないと健康を害しそうです。

今日は、学校公開Ⅱでした。

中学部は、職場体験学習の発表でした。私は、プレゼン作りの時に少し子ども達の様子を見ています。体験した内容を聞いている方にわかりやすくを考慮し、また、映像と台詞を合わせる、さらに、時間制限との兼ね合いでカットしたりとずいぶん工夫をしていました。

ただ、体験をするだけでなく、いろんなことを学んだことだと思います。

小学部は、普段の授業の様子をお見せしたはずですが、先回も感じましたが、きっと、保護者が来てくださっているのです、子どもたちも張り切っていたかと想像しています（金曜日に書いています）

本を紹介します

## 『親日』台湾の幻想 ー現地で見聞きした真の日本観ー』

扶桑社新書 2010年10月10日 第2刷発行 著者 酒井 亨

筆者は、共同通信社を経て、平成12年から台湾在住フリージャーナリストの経歴をもちます。

在台湾の日本人は歴史を知らなければならぬと考えています。ただ、私のように中国語、台湾語ができない。従って、台湾人とのつき合いが極端にすくない状況の人間は本に頼るしかありません。

そこで、この本の著者は、ジャーナリストということもあって様々な立場からこのような見方があるという書き方を終始しています。その結果、著者はどう考えているとあるので、私にはかなり読みやすいものとなっています。

p 76

日本統治時代に活躍した日本人のうち、いまでも台湾で評価されている人を見ても、やはりインフラ建設・設計、公衆衛生、教育、食料など「物質文明の向上」に関係した人に集中している。（このあと4ページ紹介されていますので、まとめてしまうと）

後藤新平（台湾開発の中心人物・・・農業振興、都市・交通整備、アヘン対策）

新渡戸稲造（甘蔗の品種改良、耕作方法、加工法で台湾農業発展の基礎）

八田與一

上野英三郎（忠犬ハチ公の飼い主で台湾の水利事業に対して、総督府に対して、殖産、土木行政に提言をした）

鳥居信平（屏東県で伏流水を利用した地下ダムをつくった）

あと、軍医の森鷗外、紅茶の新井耕吉郎、磯栄吉と末永仁は蓬莱米の完成。

p 141

ただ、いずれにしても、台湾人が「日本統治時代」で評価するのは、インフラ建設など実利的な貢献面に限られている。決して一部保守派が期待するように戦前日本の軍人支配の部分の評価する意図はない。